



## みのわテラス建設事業について

み

のわ町は可住地の7割(1500ha)が農地です。見渡すかぎりの田園風景に恵まれ、23億円(2015年)の産出額を生み出す「農」が強みです。平成9年に直売所とレストラン、後に加工所と交流施設を整備し、周辺には果樹団地を作りながら、一帯として農家所得の向上、地産地消の推進、都市農村交流(グリーンツーリズム)推進を進めてきました。このたび、『減少する農の担い手の確保』『強みである「農」の更なる価値化』『「農ある暮らし」を魅力とした関係人口の創出』を目指して、核となる直売所の改築を中心に、「みのわテラス」として一帯のリニューアルを行います。

や

### まびこテラス(レストラン&カフェ)

直売所と連携し、地元の食材の魅力を発信します。季節の果物を使ったスイーツとグリル料理。テラス席からは、アルプスを一望できます(外装塗替・指定管理者変更)

フ

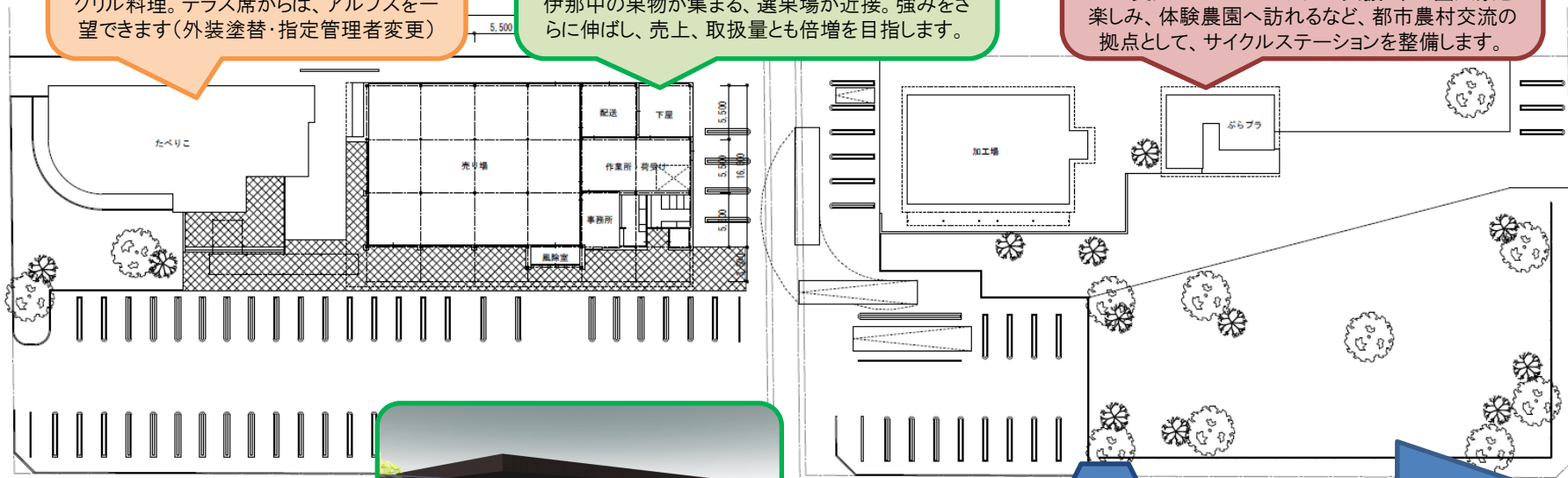
### ファームテラスみのわ(農産物直売所)

販売力に加えて、作付から指導できるJAの運営へ。主力は何といても、町特産の果樹です。上伊那中の果物が集まる、選果場が近接。強みをさらに伸ばし、売上、取扱量とも倍増を目指します。

サ

### イクルテラス

イクルテラス(自転車販売&メンテナンス)  
2つのアルプスを眺める好立地を活かし、交流人口の受入のためのサイクリスト支援と、田園風景を楽しむ、体験農園へ訪れるなど、都市農村交流の拠点として、サイクルステーションを整備します。



みのわファームテラス  
改修イメージ

防

### 災公園

直売所の整備に併せて、一帯を防災公園として整備し、指定避難所に指定します。道の駅における防災拠点のような役割を果たす場として整備します。

# みのわテラス整備事業について



○現状と課題 農の担い手の減少（2020年には2005年比で販売農家が半減）  
直売所・農家レストラン・加工所を整備したものの、取扱量（売場面積・使用料）や販売力（経営能力）が低く狙いである豊かな農環境を活かした「担い手の所得向上」、「農地利用による耕作放棄地の解消」につながらない

## ○課題解決の方向・めざす姿

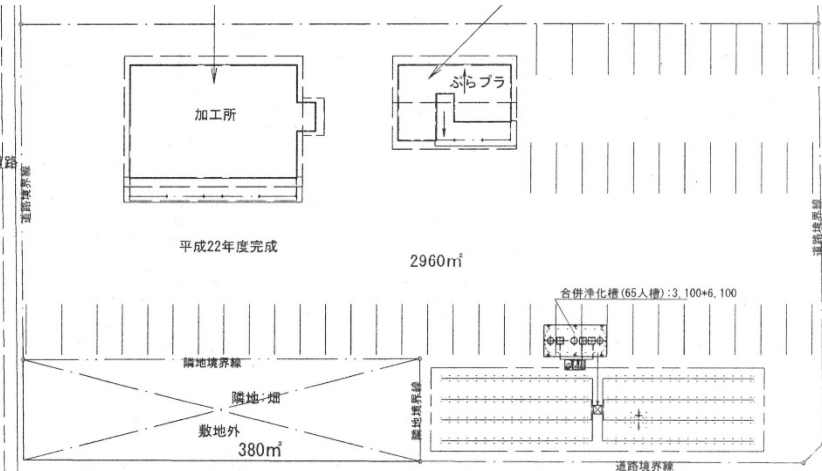
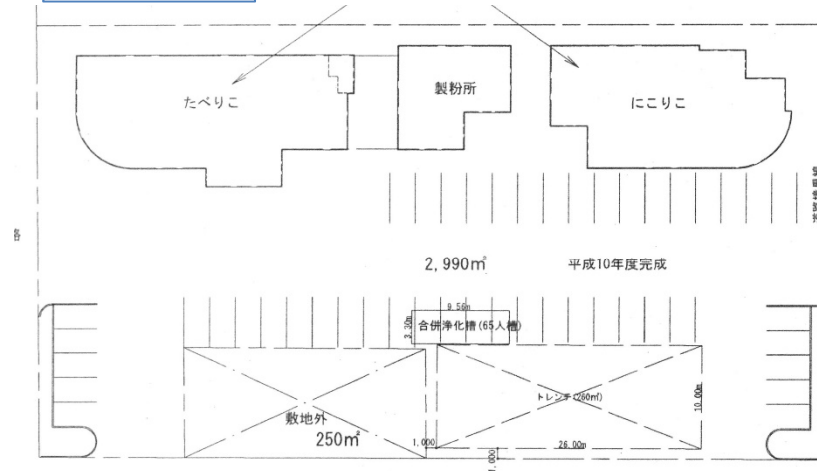
- ①減少する農の担い手の確保 ②豊かな農環境の価値化 ③「農ある暮らし」を魅力に、関係人口を増やす

## ○事業の展開



# みのわテラスリニューアル計画図

## 現状



## 計画図

